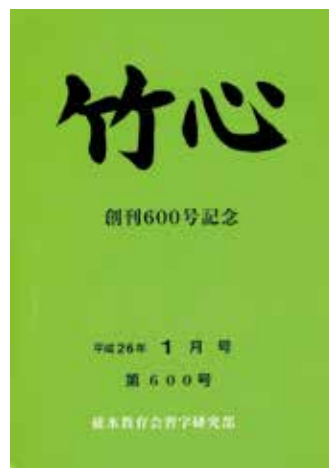




本市は、昔から「書道」が非常に盛んです。多くの有名な書家を輩出しており、昭和32年から続く書道雑誌「竹心」により独特の書道教育が根付いています。また、碓氷峠には万葉仮名碑が多くあり、書道に親しみやすい環境が整っていました。今回、本市に昔から根付いている「書道」をテーマにさらに親しみを持てるよう紹介します。

書に親しむ



▲創刊600号記念冊子

全国的にも珍しい

書道冊子「竹心」

本市の公立小中学生から作品を募り、優秀作品を掲載している「竹心」。一度は耳にしたことがあるでしょうか。

「竹心」は、当時の碓氷教育会習字部の先生方により1957(昭和32)年10月に第1号が発行されました。年間で10回発行されており、一度も休刊することなく、現在では657号にまで至っています。

創刊当時に作品を出品した児童生徒の皆さんは現在70歳代になっています。自分の名前の上に○があり、昇級・昇段したときの喜びを今なお覚えている人も多くいることでしょう。「書道」は日本の大切な文化の一つであり、「竹心」は誰もが子ども